

多雪地で越冬性に優れるペレニアルライグラス「KSP1403」

酪農試験場天北支場 地域技術グループ
北海道農業研究センター 作物開発研究領域 飼料作物育種グループ
酪農試験場 草地研究部 飼料生産技術グループ
畜産試験場 畜産研究部 飼料生産技術グループ
北見農業試験場 研究部 馬鈴しょ・牧草グループ

1. 試験のねらい

ペレニアルライグラス「KSP1403」は、晩生で、放牧を模した多回刈り条件下における収量性は「ポコロ」と同程度であるが、とりわけ道北・道央の多雪地において「ポコロ」より越冬性に優れる。

2. 試験の方法

「KSP1403」は、雪印種苗株式会社北海道研究農場と酪農試が、6 栄養系の交配による合成品種法により育成した新品種である。平成27年～29年に、雪印種苗株式会社北海道研究農場（長沼町）ならびに道東の試験圃（芽室町、別海町）において、場外予備検定試験を実施し、越冬性と収量性に優れたことから、平成30年～令和2年に、道内5場所（北農研センター、酪農試天北支場、畜試、酪農試、北見農試）において品種比較試験を実施した。その結果、特に道北、道央の多雪地帯において、標準品種「ポコロ」と比較して、収量性は同程度であるが、越冬性に優れることが明らかになった。

3. 成果の概要

標準品種「ポコロ」と比較した特性は次のとおりである。

- 1) 早晚性：出穂始が標準品種より4日遅く“晩生”に属する（表4）。
- 2) 越冬性：越冬性は優れる（表1、4）。早春の草勢はやや良好である（表1）。雪腐大粒菌核病、紅色雪腐病の罹病程度は低い。雪腐病に対する抵抗性は“やや強～強”、耐寒性は“やや強”で、いずれも「ポコロ」よりやや優れる。
- 3) 収量性：3カ年（1～3年目）合計、2カ年（播種後2、3年目）合計の乾物収量は、いずれも同程度である（表2）。年次別の合計乾物収量は、1年目がやや少ない傾向にあるが、2年目は同程度、3年目は同程度かやや多い傾向にある。季節別の乾物収量は、春が同程度かやや多く、夏と秋はいずれも同程度である（表3）。
- 4) 永続性：2年目収量に対する3年目収量の指数は同程度である（表1）。秋の被度は同程度である。雑草の侵入はやや少ない傾向にある。
- 5) 耐病性：葉枯性病害の罹病程度は少ない（表1、4）。
- 6) 出穂程度：同程度である（表1）。
- 7) 草丈：同程度である（表1）。
- 8) 秋の草勢：同程度である（表1）。
- 9) 兼用利用適性：同程度である（表4）。

4. 留意点

- 1) 適応地帯は、道北、道央、道南である。
- 2) 主として放牧で利用する。1番草を採草し、その後放牧する兼用利用も可能である。土壤凍結地帯での栽培は避ける。
- 3) 種子供給の開始は令和7年を予定している。